

# 立体ハイビジョン IP 伝送に関する実用化公開実証実験

日時： 6月4日(水) 14:30 - 18:00

場所： 大手町サンケイプラザ4階ラウンジ

超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム立体映像伝送作業班は、立体ハイビジョンを IEEE1394 による IP(インターネットプロトコル)伝送で配信する実用化実証実験に世界で初めて成功しました。これにより、本方式は、高画質な立体ハイビジョンを IP 生中継する手段として、また立体ハイビジョン映像を家庭に配信する手段として実用的であることが実証できました。今回開発したシステムと実証実験の概要は以下です。

## (1) 水平圧縮 side by side 伝送システム (ローエンドタイプ、図1参照)

一般的なベストエフォート回線を使って、IEEE1394(FireWire、iLink)で家庭等に水平圧縮2画面多重の立体映像を直接配信するシステム。このタイプは既に昨年度、JGN 回線を使用した2ストリームの伝送実験に成功しました。

## (2) 高画質 2ch 並列伝送システム (ハイエンドタイプ、図2参照)

NICT の JGN2plus(HP アドレス <http://www.jgn.nict.go.jp/>)などの広帯域回線を使って、スポーツやイベント会場から劇場や展示会場に、高画質な立体映像を独立した2チャンネルの HDV 規格のハイビジョン映像をそのまま伝送するシステム。今回は、より高画質なこのハイエンドタイプの伝送実験をデモンストレーションします。

IP 伝送の経路上でも、2 ストリームを維持し、両ストリームの同期を保ったまま伝送される為、HDV 画質そのままの美しい立体ハイビジョン画像が得られます。伝送上で発生するジッター、パケットロス、伝送装置内のエラー補正回路で吸収されます。

## 超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム 立体映像伝送作業班

- ・株式会社 NHK メディアテクノロジー (社長:近藤達彦)
- ・株式会社アスナ (社長:家坂昌秀)
- ・FA システムエンジニアリング株式会社 (社長:中村康則)
- ・独立行政法人情報通信研究機構 (理事長:宮原 秀夫)

### <問い合わせ先>

URCF 立体映像伝送作業班 リーダー

中村 康則 (FA システムエンジニアリング(株))

電話: 03-3472-0017 Eメール: [nakamura@fase.co.jp](mailto:nakamura@fase.co.jp)

図1 水平圧縮 side by side の IP 伝送システム

ローエンドタイプ

平成 20 年 3 月 10 日完成

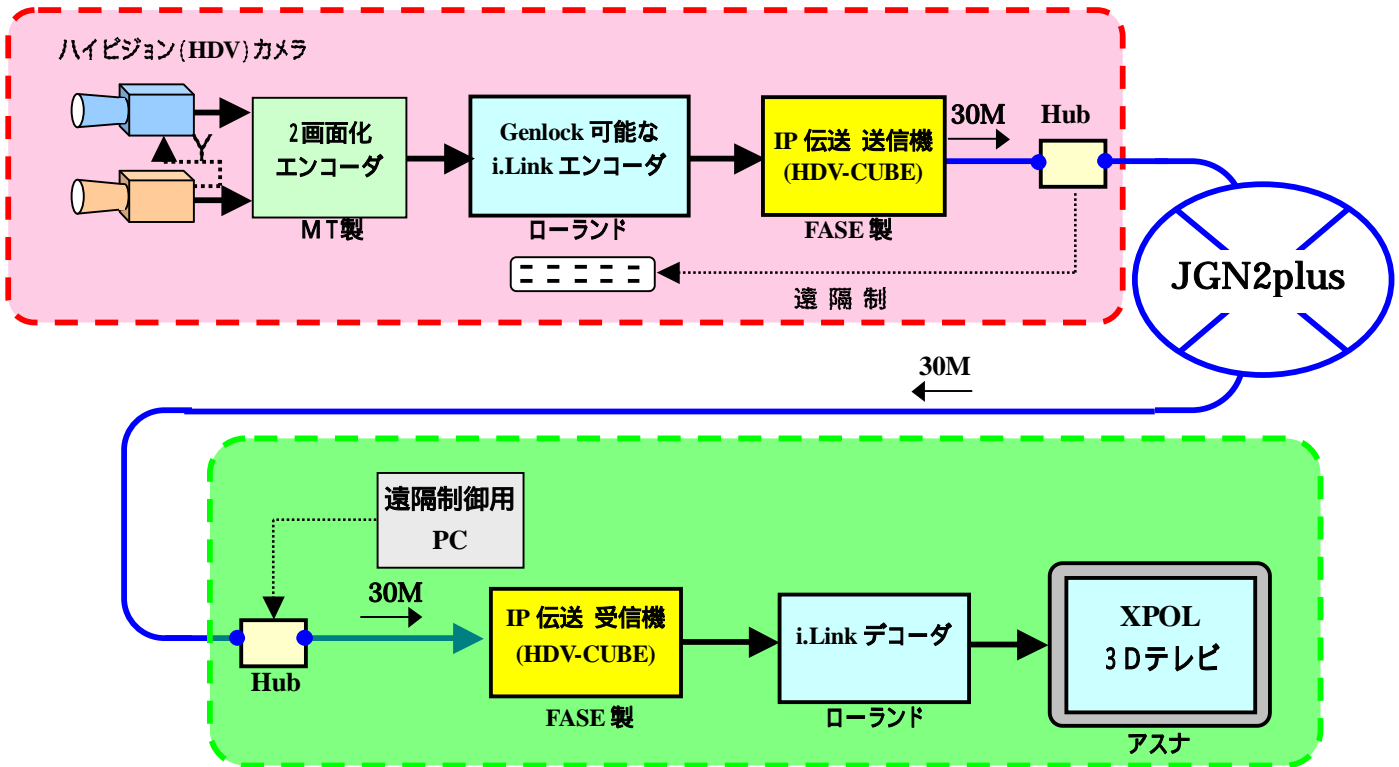


図2 高画質2ch 並列伝送システム(今回の公開実証実験)

ハイエンドタイプ

平成 20 年 6 月 4 日展示

